

VI. 中南米

キューバ

主要データ

国名〔英名〕	キューバ共和国〔Republic of Cuba〕
面積(km ²)	110,860
海岸線延長(km)	3,735
人口(百万人)	11.5
人口密度(人/km ²)	103.3
GDP(百万 US\$)	52,300
一人当り GDP(US\$)	4,641
一人当り銅使用量(kg/人)	NA
主要鉱産物：鉱石(千 t)	ニッケル：70.5、クロム：50.0
主要鉱産物：地金(千 t)	ニッケル：35.0
鉱業管轄官庁	Ministerio de la Industrias Basicos〔基礎産業省〕
鉱業関連政府機関	Oficina Nacional de Recursos Naturales〔鉱物資源庁〕
鉱業法	広域調査、探査、探鉱の期限は各々1年、2年、1年。 採掘鉱区の期限は25年(25年の延長が可能)。
ロイヤルティ	3～5%
外資法	外資100%の参入が可能。
環境規制法(環境影響評価制度、環境・排出基準の有無等)	環境影響評価の実施が義務付けられている。
鉱業公社	Union de Nickel(ニッケル公社)、Union de Geominera(地質鉱山公社)
鉱業活動中の民間企業	Sherritt International Corp.
近年の鉱業関連問題(資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	米国による制裁措置(Helms Burton法)。 深刻な電力不足。
2008年のトピックス	Moa ニッケル鉱山の増産プロジェクトの Phase I が Q2 に完了。Phase II はニッケル価格の低迷のため Q4 に中断。

1. 鉱業一般概況

キューバの主要金属鉱物資源は、ラテライト型鉱床中のニッケル及びコバルトで、両者とも世界第2位の埋蔵量を有する。一方、ニッケル及びコバルトの生産は、1959年のキューバ革命以降、東側諸国の技術・資本で開発・生産が開始されたが、埋蔵量に比べて規模が小さく、2008年のニッケル鉱石生産量は世界第8位、同地金生産量は世界第11位に留まっている。

キューバ政府は、1990年以降の東側経済圏の崩壊を機に、西側諸国資本によるニッケル鉱業の活性化を図ることとし、1993年以降、外資への有望鉱区公開、外資導入促進等のための鉱業法改正、製錬所への外資導入・合併企業設立を行い、欧州・カナダ・豪州等の企業による探鉱活動が活発化した。最近では、中国企業も参入の動きを見せている。

Union de Nickel とカナダの Sherrit

International Corp.の合併事業である Moa 鉱山では拡張プロジェクト(ミックス・サルファイドの生産能力を3段階で33,000t/年から49,000t/年に増強)を実施中である。2008年Q2にPhase I (4,000t/年の増産)が完了したが、ニッケル価格の低迷のため、Phase II (9,000t/年の増産)は2008年Q4から中断している。な

お、合併事業による2008年のニッケル生産量は32,408t、コバルト生産量は3,428tに達した。

2. 鉱業政策の主な動き

特になし。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要非鉄金属鉱石生産量

表1. キューバ：金属鉱石生産量

(単位：千t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)
ニッケル	78.0	78.4	70.5	-10.1%
クロム	50.0	50.0	50.0	0.0%

(出典：INSG World Nickel Statistics-May 2009, WMSY 2009)

(2) 主要非鉄金属地金生産量

表2. キューバ：金属地金生産量

(単位：千t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)
ニッケル	42.0	41.5	35.6	-14.2%

(出典：INSG World Nickel Statistics-May 2009)

4. 鉱山・製錬所状況

表3. 鉱山・製錬所生産状況

鉱山・製錬所名	権益	鉱種	生産量(t：年)		備考
			2007年	2008年	
Moa Bay	General Nickel (50)	ニッケル	31,392	32,408	カナダで加工
	Sherritt International (50)	コバルト	3,574	3,428	
			Mixed sulfides	33,662	35,120
Nicaró	General Nickel (100)	酸化ニッケル		13,000	Ni 90% 生産能力
Punta Gorda	General Nickel (100)	酸化ニッケル		30,000	Ni 90% 生産能力

(出典：Scherritt International Corp. Management Discussion & Analysis 2008 他)



図1. キューバの鉱山・製錬所位置図

5. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

キューバから日本へのニッケル製錬中間産物の輸出は 2003 年から開始された。輸出量(額)は 2003 年 21 千 t(20 百万円)、2004 年 84t(106 百万円)、2005 年 231t(333 百万円)と順調に増加し、2005 年にはキューバの対日輸出額の約 10%を占めるまでになった。しかしながら、2006 年の輸出量(額)は 21t(26 百万円)と大幅に減少し、更に 2007 年、2008 年には輸出はゼロとなった。(※原因は不明である

が、米国による対キューバ経済制裁(ヘルムズ・バートン法)の関係かとも考えられる。)

(2) 日本企業による投資状況等

特になし。

6. その他トピックス

特になし。

(2009. 7. 14/メキシコ事務所 小島 和浩)